

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-244528

(P2001-244528A)

(43) 公開日 平成13年9月7日 (2001.9.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト [*] (参考)
H 0 1 S 3/06		H 0 1 S 3/06	B 2 K 0 0 2
G 0 2 F 1/35	5 0 1	G 0 2 F 1/35	5 0 1 5 F 0 7 2
H 0 1 S 3/10		H 0 1 S 3/10	Z 5 K 0 0 2
H 0 4 J 14/00		H 0 4 B 9/00	E
			K

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 34 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-51050(P2000-51050)

(22) 出願日 平成12年2月28日 (2000.2.28)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 関屋 元義

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 友藤 博朗

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100072718

弁理士 古谷 史旺 (外1名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 光増幅装置、複合光増幅装置および光通信システム

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、光信号対雑音比を改善して長距離伝送を可能にする光増幅装置、複合光増幅装置およびこれらの装置を用いた光通信システムに関する。

【解決手段】 本発明にかかる光増幅装置10は、光伝送路12へ射出される光を光伝送路12が持つ損失波長特性をほぼ補償する利得波長特性で増幅する。このため、光伝送路12で生じる伝送損失および誘導ラマン散乱などの光伝送路12の損失波長特性を補償することができるので、WDM方式光信号を増幅した場合には、伝送後に各チャネルの光信号対雑音比をほぼ同一にすることができる。したがって、このような光増幅器を使用する光通信システムでは、中継間隔を長距離化することができる。

請求項1ないし請求項10に記載の発明の原理構成

